

4 気 象

6年は、ほぼ年間を通じて気温が高い状態が続き、アメダス（練馬）の年平均気温は、17.2℃で観測開始（昭和51年）以来としても統計期間（注1）としても最も高くなった。

また、日本の年平均気温も統計を開始した明治31年以降で最も高くなり、さらに、世界の年平均気温も統計を開始した明治24年以降で最も高くなった。

練馬の年降水量は1,776.5mmで、多い方の1位となった。

1月：

冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、雨や雪で雷を伴う日もあった。なお、東京では13日に初雪を観測した（平年より10日遅く、前冬より11日早い）。月平均気温はかなり高く、月間日照時間、月降水量ともに平年並だった。

2月：

冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れの日が多くなり、期間の中頃には暖かい空気に覆われ気温のかなり高い日が多かった。なお、15日には関東地方で「春一番」が吹いた。月平均気温はかなり高く、月間日照時間は平年並、月降水量は多くなった。

3月：

高気圧と低気圧が交互に通過したため天気は数日の周期で変化し、期間の中頃と終わりには大雨となる日もあった。暖かい空気に覆われて気温のかなり高い日があり、東京では31日に3月の日最高気温として最も高い28.1℃を観測した。なお、29日には東京でさくらの開花を観測した。月平均気温は平年並、月間日照時間は多く、月降水量はかなり多くなった。

4月：

上旬は曇りや雨の日が多く、大雨となる日もあり、中旬は晴れの日が続き、下旬は短い周期で天気が変わった。期間を通じて暖かい空気に覆われやすく、東京の月平均気温は、17.1℃と4月としての月平均気温の高い方から1位となった。なお、東京で4日にさくらの満開を、17～19日と26日に黄砂を観測した。月平均気温はかなり高く、月間日照時間は少なく、月降水量は平年並だった。

5月：

高気圧と低気圧・前線が交互に通過し、天気は数日の周期で変化した。月平均気温は高く、月間日照時間は平年並、月降水量は多くなった。

練馬の月降水量は176.5mmで5月として多い方の1位となった。

6月：

中旬までは、高気圧に覆われ晴れの日が多く、下旬は、前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった。なお、関東甲信地方では21日ごろ梅雨入りした。月平均気温はかなり高く、月間日照時間は多く、月降水量はかなり多くなった。

7月：

月のはじめと終わりに高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、前線や湿った空気の影響で雨や雷雨となり大雨の日もあった。期間を通して暖かい空気に覆われやすく、気温のかなり高い日が多かった。また、東京の月平均気温は28.7℃で、7月として月平均気温の高い方から前年と並び1位タイとなった。なお、関東甲信地方は18日ごろ梅雨明けした。月平均気温はかなり高く、月間日照時間と月降水量はともに多かった。

8月：

高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、湿った空気の影響や台風第7号及び台風第10号の影響で大雨の日もあった。月平均気温はかなり高く、月間日照時間は平年並、月降水量はかなり多かった。

練馬の月降水量は444.5mmで8月として多い方の1位となった。

9月：

中旬までは高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、台風や湿った空気の影響で雨や雷雨が多く大雨の日もあった。また、東京の月平均気温は26.7℃で、9月として月平均気温の高い方から前年に次ぐ2位となった。月平均気温はかなり高く、月間日照時間は多く、月降水量はかなり少なかった。

練馬の月降水量は33.5mmで9月として少ない方の1位となった。

10月：

中旬は高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、期間のはじめと終わりは低気圧・前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く大雨の日もあった。暖かい空気に覆われやすかったため気温のかなり高い日が多くなり、東京の月平均気温は20.6℃で、10月としての月平均気温の高い方の1位となった。練馬の月平均気温は20.0℃で、10月として高い方の1位となった。月平均気温はかなり高く、月間日照時間は少なく、月降水量は平年並だった。

11月：

中旬までは高気圧と低気圧・前線が交互に通過し、短い周期で変化した。下旬は冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、湿った空気の影響で雨の降る日もあった。なお、7日に東京地方で「木枯らし1号」が吹いた。月平均気温は高く、月間日照時間、月降水量はともに平年並だった。

12月：

冬型の気圧配置や高気圧に覆われることが多く、概ね晴れの日が続いた。なお、東京では9日に初霜（平年より14日早く、前年より7日遅い）と初氷（平年より15日早く、前年より13日早い）を、19日に初雪（平年より15日早く、前冬より25日早い）を観測した。また、東京の月間日照時間は233.8時間となり、12月として月間日照時間の多い方から2位（統計期間：明治24年～6年）となった。月平均気温は平年並、月間日照時間はかなり多く、月降水量はかなり少なかった。

練馬の月降水量は0.0mmで少ない方の1位となった。

- 注1：本文章内で使用している練馬の記録の統計期間は、観測場所の移転の影響で観測期間よりも短く、平成24年12月～6年12月である。
- 注2：東京での気温、日照時間、降水量の階級区分（「低い」「平年並」「高い」など）は、平成3年から2年の30年間の観測値をもとに決めている。
- 注3：東京の月平均気温の統計期間は明治8年7月～6年12月である。

〔練馬地域気象観測所 気温・降水量〕 6年

区分 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
平均気温 (℃)	6.1	7.3	9.1	16.8	19.7	23.0	28.6	29.0	26.3	(※) 20.0	13.0	6.9	17.2
平均最高気温 (℃)	11.4	12.1	14.4	21.7	25.2	28.1	33.9	34.1	30.9	(※) 24.1	17.4	13.0	22.2
平均最低気温 (℃)	1.0	3.3	4.0	12.4	14.8	19.0	24.4	25.4	22.9	(※) 16.5	8.9	1.3	12.8
降水量 (mm)	30.5	64.0	171.5	94.5	176.5	270.0	254.0	444.5	33.5	151.5	86.0	0.0	1,776.5

注：月平均は、日平均気温、日最高気温、日最低気温をそれぞれ月毎に平均した値である。
※：準正常値。統計値を求める対象となる資料の一部が欠けているが、許容する資料数を満たす値。